

# 西国三十三霊場巡りマラニック 第十一番 深雪山 上醍醐寺

十九年十一月九日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

宗派は真言宗醍醐派総本山、本尊は坐像准胝観世音菩薩、開基は聖宝理源大師と言われる。弘法大師の孫弟子、理源大師が都の東南の方に五色の雲がたなびいている山を見て、霊地とすべく登ったところ、醍醐山の神、横尾明神の化身である老人が現れ、そこに湧き出ている水を飲み、『ああ醍醐味なるかな』と言ったという。これが醍醐寺の名の由来になった伝えられている。上醍醐寺は西国三十三ヶ所霊場中最大の難所の一つであり、醍醐寺から上醍醐寺まで1時間かかった。「醍醐水」前の広場にある石段を上がると「准胝堂」と呼ばれている本堂の前に出る。「准胝堂」には本尊の准胝観音像が安置されている。岩間寺までは、そこから巡礼古道を辿り素人で4時間、今回は時間がなかったので2時間で駆け抜けた。途中一旦は西笠取東笠取に下り、さらに岩間寺に向けて上る。

